

WG名	がんサバイバーに対するケアを担う人材と就労・生活支援を担う人材養成 WG
コース名	がんサバイバーを支える多職種医療者養成コース
コース責任者(大学名)	佐藤 真由美(国際医療福祉大学)
WGメンバー(大学名)	辻 哲也(慶應義塾大学)、矢ヶ崎 香(慶應義塾大学)、結束 貴臣(国際医療福祉大学)、 原 毅(国際医療福祉大学)、渡邊 純一郎(順天堂大学)、酒井 朋子(東京科学大学)、 竹内 崇(東京科学大学)、宮田 優子(東京科学大学)、細金 操(東海大学)
参加校	国際医療福祉大学、慶應義塾大学、順天堂大学、東京科学大学、東海大学
開講時期	2025 年度
受講方法	オンデマンド、zoom(一部)
受講登録方法	5月30日までに次の Forms から受講登録してください。 https://forms.gle/9suTdotEdp5N1ZcG8 詳細は、国際医療福祉大学がんプロ HP https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/cancer5/partner_common/ をご参照願います。 第8回は双方向型のオンライン授業です。視聴方法については後日お知らせします。

【授業の目的】がんサバイバーを支える多職種医療者を養成することを目的とする。

【目標】

1. がんサバイバー・家族の身体的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアを提供出来る。
2. がんサバイバー・家族の心理的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアを提供できる。
3. がんサバイバー・家族の社会的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアを提供できる。
4. がんサバイバー・家族が、がんを自己の問題として捉え、がんと共に生活すること、がんの再発を予防する支援を提供出来る。

授業計画

回	授業題目	担当教員(所属)
第1回	がんサバイバーシップ	渡邊純一郎(順天堂大学)
第2回	がん治療とお金、がんと治療に活用できる社会的支援・制度	細金操(東海大学医学部付属病院)
第3回	意思決定支援1 看護師の立場から	野上紀子(順天堂大学医学部付属順天堂医院)
第4回	意思決定支援2 臨床心理士の立場から	榎場美穂(静岡県立がんセンター)
第5回	就労支援	宮田優子(東京医科歯科大学病院)
第6回	小児がんサバイバーへの支援	村山志保(国際医療福祉大学)
第7回	小児がんサバイバー家族への支援	上別府圭子(国際医療福祉大学)
第8回	AYA世代のがんサバイバー・家族への支援1	鈴木美穂(マギーズ東京共同代表)
第9回	AYA世代のがんサバイバー・家族への支援2	岡田由貴子(京都大学医学部婦人科学産科学教)
第10回	がんサバイバー・家族へのメンタルケア	小川朝生(国立がん研究センター東病院)
第11回	精神疾患をもつがんサバイバーへの支援	竹内崇(東京医科歯科大学)
第12回	がんと診断されたときからの緩和ケア	結束貴臣(国際医療福祉大学成田病院)
第13回	がん治療と仕事の両立支援	根岸茂登美(藤沢タクシー社長)
第14回	地域連携 大学病院に勤務する看護師の立場から	宮田優子(東京医科歯科大学病院)
第15回	疾病予防、病気の早期発見など保健師の立場から	鈴木穂波(国際医療福祉大学熱海病院)
第16回	アピラランスケア	猪又知子(順天堂大学医学部付属順天堂医院)
第17回	チーム医療におけるがん専門薬剤師の役割	佐藤慶三(国際医療福祉大学三田病院)
第18回	がんのセルフマネジメント	矢ヶ崎香(慶應義塾大学)
第19回	がんと栄養 栄養サポートチームの役割	高村晴美(国際医療福祉大学成田病院)
第20回	がん看護外来、がん相談	藤咲麻美(国際医療福祉大学三田病院)
第21回	がんのリハビリテーション総論	辻哲也(慶應義塾大学)
第22回	がん周術期(術前、術後)のリハビリテーション	小西信子(国立がん研究センター東病院)
第23回	放射線、化学療法中、外来がんリハビリテーション診療	鈴木克喜(静岡県立がんセンター)
第24回	がんロコモ(骨転移対策含む)	篠田裕介(埼玉医科大学医学部)
第25回	高齢がん患者とリハビリテーション診療(FIT、UNFIT)	上野 順也(国立がん研究センター東病院)
第26回	緩和ケア主体時期(進行がん、末期がん)のリハビリテーション	添田 遼(鶴巻温泉病院)
第27回	在宅がんリハビリテーション診療(在宅療養)	島崎寛将(済生会富田林医療福祉センター)
第28回	リンパ浮腫、終末期浮腫のケア	山本優一(北福島医療センター)
第29回	がんと運動、運動腫瘍学	田沼明(順天堂大学医学部附属静岡病院)
第30回	がんの嚥下障害とリハビリテーション診療	安藤牧子(慶應義塾大学大学病院)

履修上の注意・コース修了要件

全講義の視聴、第8回の zoom 参加をした上で、各講義課題(レポート)を提出し、合格することが本コースの修了要件である。

備考 第8回は、双方向型のオンラインで実施する。尚、後日に動画配信はしない。

担当者連絡先

ganpro-jimukyoku@iuhw.ac.jp(国際医療福祉大学がんプロ事務局)